

# 授業科目 応用肉眼解剖学実習

【担当教員名】 鈴木 了、江玉 睦明		対象学年	3・4	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○		
【概要・一般目標：GI0】 肉眼解剖実習を通じて筋骨格系等の運動における総合的な関連性、神経、脈管系の走行と立体的配置および支配、臓器と他の器官との関係等をより実践的に観察、学習すると共に、研究および臨床と関連させ「人体の構造と機能」を総合的に理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 解剖学および運動学の基礎および用語を理解し、それらを解剖体と照らし合わせて説明できる</li> <li>2. 体幹および四肢の骨格および靭帯、関節構造を領域毎に理解し、且つそれらを包括的に説明できる</li> <li>3. 全身の骨格筋の特徴および機能を理解し、動作時の状態を総合的に説明できる</li> <li>4. 末梢神経の走行、分布、分節を実際的に理解し、骨格筋の神経支配、臨床症状と合わせて説明できる</li> <li>5. 神経および筋に変異および多様性を理解し、臨床、研究に当てはめてを説明できる</li> <li>6. 臓器および脈管系の位置および分布を理解し、神経および全身の構造と合わせて説明できる</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	上肢および腕神経叢 下肢および腰仙骨神経叢 体幹筋（腹側）の構成と胸神経前枝 体幹筋（背側）の構成と胸神経後枝 頭頸部の筋と頸神経叢 胸部内臓および循環系と呼吸筋 腹部内臓および骨盤内臓 中枢神経系と脳神経			1-6 1-6 1-6 1-6 1-6 1-6 1-6 1-6	担当：鈴木 了 他 担当：鈴木 了 他 担当：鈴木 了 他 担当：鈴木 了 他 担当：鈴木 了 他 担当：鈴木 了 他 担当：鈴木 了 他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第3版 新 動きの解剖学	奈良 勲、鎌倉 矩子 ブランディーヌ・カレ - ジェルマン	医学書院 科学新聞社出版	2010・6,000円＋税 2009・6,000円＋税
参考書		1年次「機能解剖学」指定の参考書			
その他の資料					
【評価方法】 出席、提出物、試験等による総合評価		【履修上の留意点】 指定教科書の他に、1年次科目「機能解剖学」の参考書、配布資料等を使用します。 また実際の解剖体による非常に貴重な実習であり、且つ専門科目および卒業研究との対 比が重要となる科目です。 各自十分な事前学習、準備を行ってください。			